

涼感

みやざき



特集

広がれ！おびのはし
宮崎県産材割箸利用促進事業

活動レポート

推進員スキルアップ研修を実施しました！

一歩いっほ 推進員だより

森末富子さん・宮田スミ子さん（宮崎市）

貸出ツールを使って講座を開こう！

イベント情報

助成金情報

エコ用語辞典

先ごろ発表された IPCC の第 5 次報告書ではこれまで 20 世紀半ば以降の温暖化の主な要因は、人間活動の可能性が「非常に高い」から「極めて高い」になっており、今までの「温暖化を止める」という活動から「被害を最小なものに止める」動きが必要とされるようになってきました。かつて「台風銀座」と呼ばれていた宮崎ですが、平成 17 年の台風 14 号以来、幸いなことに直撃もしくは上陸する数は少なくなっています。これは海面温度の上昇が大きな要因として考えられており、台風の発生する地域も心なしかずれてきているような感もあり、今まではあまり大きな被害を受けてこなかった地域での被害が大きくなっています。このような知識や情報をセンターや、推進員の方々の力を活用し広く県民の皆様が持つていただくことが被害を抑えることに繋がります。自然を見くびることなく最大限の準備を普段から心がけておくことが大切です。

広がれ！
おびのはし

宮崎県産材割箸 利用促進事業

使ったあとは回収され、バイオマス発電燃料として電気を生み出す県産材割箸「おびのはし」。現在、日南市・綾町の小中学校をはじめとし、ご賛同いただいた多くの飲食店さんが、イベントで使っていただいております。確実におびのはしの輪が広がっていくのを感じています。

先日、日南の学校に森林学習に伺った際に、子どもたちから「飯肥杉は私たちの宝」という声が聞こえてきました。「おびのはし」は、飯肥杉をすみずみまで、最後まで大事に使うことができます。

「おびのはし」の、木を最後まで無駄にしないサイクルや思いを、宮崎から日本中に広めていくことができれば、それは次世代の誇りにつながるのではないのでしょうか。今後も力を入れて活動していきたいと思っております！

宮崎県産材割箸利用促進事業
事務局 緒方 智奈美



軽くて、香りもいい「おびのはし」

おびのはし応援隊



祖父が 60 年前に植林した杉山を昨年伐採して建築材用原木として収穫しました。もちろん、60 年後の誰かのために杉を植林しました。「祖父に恥じない木の使い方したい。60 年かけて育った木をすみずみまで、木製品として使ってもらいたい」という思いから、建築材の製材後に発生する端材から飯肥杉割箸を作りました。お年寄りから子どもまで、実は身近に使っている木材である割箸。しかし、普段割箸が木であることをあまり意識していません。飯肥杉の割り箸を使っていただくことで、木の温かみや匂いの良さを再確認して欲しいと思います。そして、植林して育てた先人の気持ちを思い浮かべていただけたら本望です。

吉田産業
吉田 利生 社長



おびのはし発信中



10 月 3 日、日南市吾田東小学校の 4 年生約 70 名を前に、森林学習を行ってきました。割箸を使うことは、地球にやさしいということを知ってもらいました。意外な事実を目を丸くしながら真剣に話を聞いてくれた子どもたち。質疑応答の時間では、「割箸を作る時に CO₂ は出ないのですか？」といった鋭い質問も。日南市の全小中学校では、9 月から給食での割箸利用がスタートしました。一人でも多くの子どもたちに、割箸利用の意味を理解してもらった上で使ってもらえるように、今後もこのような機会を積極的に活用していきたいと思っております。

たかが箸、されど箸。たった一膳の飯肥杉の箸からは、我がまちのこと、環境のこと、地球のこと、飯肥杉のこと、ご先祖のこと、いろんなことに考えが広がります。暮らしの道具も、地産地消。杉丸太から柱や板をとり、残った端っここの材から作られた割箸です。何十年も山で育ち続けてきた飯肥杉を、暮らしの中で生かしましょう。江戸時代から約 400 年もの歴史を持つ飯肥杉の良さや価値を、現代の子どもたちに給食を通じて伝えていく活動は、とても意味のある取り組みです。いまの大人の役割だと思っております。



日南市役所 飯肥杉課
河野 健一さん



おびのはしは、イベントや飲食店でもご利用いただいております。8 月 24 日に開かれた「2013 夏 M R T 感謝祭」のご当地グルメコンテストにおいては、5,200 膳のおびのはしをご利用いただきました。また、本事業の趣旨にご賛同いただいた飲食店の皆さまにもご協力いただいております。

「マイ箸」という言葉を初めて聞いたのはいつのころでしょうか。割箸を消費せず、自然を大事にしようというスローガンのもと、私の周りでも何人かの方が、マイ箸を使っていました。でも実は、県産材を伐採して有効活用することも温暖化防止につながるのだと知る機会がありました。それが今回の、「宮崎県産材割箸利用促進事業」です。今回の事業でいったいどれくらいの効果があるのか大きな期待を持って事業推進を見届けたいと思っています。

綾町 産業観光課
高好 加代子さん



活動 レポート

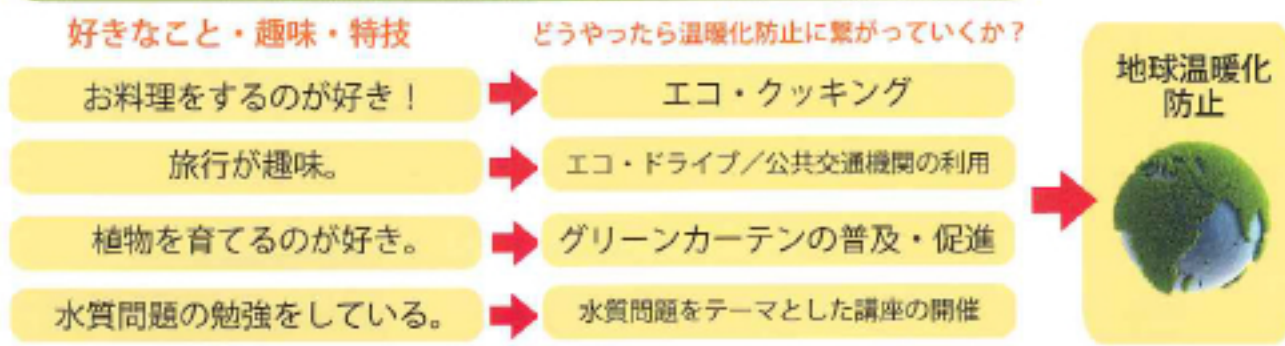
平成 25 年度 宮崎県地球温暖化防止活動推進員 スキルアップ研修

10月7日、宮崎市内にて「平成25年度宮崎県地球温暖化防止活動推進員スキルアップ研修」を実施いたしました。総勢13名が参加。研修の前には、行政関係者との意見交換会が実施され、市町村の枠を超えた情報交換や連携の在り方について意見が交わされました。

その後の推進員向け研修では、改めて「宮崎県地球温暖化防止活動推進センター」や推進員の位置づけや役割の説明をセンター長よりお話をさせていただきました。また、推進員同士の絆を深めることを目的に、ワークショップを開催しました。

下記は、その時に話し合われた内容です。皆さんも参考にしてみてください。

私の得意は、こうやって温暖化防止に繋がっていくかも！？



3回の授業で、約90名の子どもたちが参加。



ミシンに触るのは小学校以来という子どもたちがほとんど。扱いに四苦八苦の様子。

一歩いっほ 推進員だより

森末 富子さん・宮田 スミ子さん（宮崎市） 『エコの活動は、自分たちの元気のみなもと』

森末さんは平成21年から、宮田さんは平成17年から地球温暖化防止活動推進員として活動されています。お二人は、身近な暮らしのなかから地球環境問題に対する啓発、環境教育等の活動を行なっている「みやざきエコの会」の会員でもあります。「みやざきエコの会」は、宮崎市のみ問題海外研修訪問団派遣事業の第1回～第5回にかけてドイツで研修を受けたメンバーを中心に結成された組織です。

お二人も環境先進国であるドイツへ研修に行かれ、ホームステイをしながら行政や学校訪問、浄化センターといった施設の見学を通じて、エコについて学ばれたそうです。研修を通じて驚かれたことは、「徹底したエコの取り組みが生活に馴染んでいること。例えば飲み物をこぼした時、日本だとティッシュを使うが、ドイツでは布巾で拭く。だから、家の中には小さなゴミ箱が一つしかない。また、買い物をするにも基本的には量り売り。パックされていないので、タッパーなどの入れ物を持参して買い物に出かけるのが当たり前。」と語ってくださいました。

そんなお二人に、10月2日佐土原中学校で開催された、カーテン生地を使った「マイバック作成教室」のサポートとしてご参加いただきました。

普段使いなれないミシンに悪戦苦闘しながらも子どもたちが一生懸命にエコバックを作る姿に、「素直に頑張ってくれた姿が印象的だった。実践を通じて、少しでも環境や温暖化防止といったことに関心を持ってくれると嬉しい。」と感想を語ってくださいました。



(左) 森末富子さん・(右) 宮田スミ子さん

イベント情報

「エコライフカフェ in 宮崎」
 ■日時：平成25年11月10日（日）14：30～17：00
 ■場所：宮崎市民プラザ4F 中会議室
 ■定員：40名（参加無料）
 ■内容：「チラシとWEBの広報術～共感度UP！自分の活動を広めよう！」と題し、広告のプロお二方をお呼びして、皆さんの活動をもっと広める方法を多角的かつ実践的に学びます。

助成金情報

「環境保全プロジェクト助成」
 環境問題に取り組みCSO（市民社会組織）の環境保全プロジェクトが、より充実したものになるよう資金助成を行います。
 ■助成金：1プロジェクト 20万円まで
 ■締切：10月31日（木）※当日消印有効
 ■詳細・問合せ：公益財団法人 損保ジャパン環境財団
 〒160-8338 新宿区西新宿 1-26-1 / 電話：03-3349-4614

貸出ツールを使って 講座を開こう！



宮崎県地球温暖化防止活動推進センターでは、推進員の皆さまをはじめ、自治体・団体に対して地球温暖化や対応策を学ぶための様々なツールの貸し出しを行っています。

学習会開催の際、開催先に持参し、参加者の皆さんと手に取ってお使いになることが可能です。

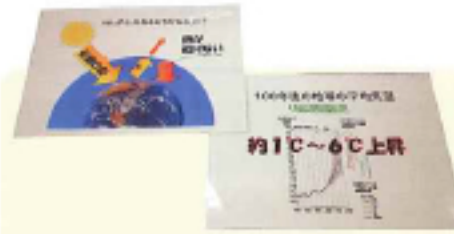
ツールは当センターで保管しておりますので、気になるツールがある場合は、当センターへお問い合わせください。

STOP! おんだんかるた



かるたの標語を実行することでどれくらいCO₂排出を削減できるかを知ることが出来るカード。表面でかるたとして遊んだあとは、裏返してCO₂排出削減数で競って遊びを深められます。

どうなるパネル



温暖化のそもそもの仕組みや、温暖化が進んだ場合に起こりうる事象を紙芝居としても、個別でも使えるようにラミネートしてある資料集。全部で43枚あります。

温暖化のそもそもの仕組みや、温暖化が進んだ場合に起こりうる事象を紙芝居として、個別でも使えるようにラミネートしてある資料集。全部で43枚あります。

地球の食卓 ～学習プラン10～



開発教育協会作成の写真学習ツール。世界の様々な国の1週間分の食料を写真で紹介し、そこから読み取れる事項を皆で共有する学習プラン書付き。

STOP! 温暖化ゲーム



毎日の生活の中でCO₂を減らす方法を学ぶためのツールです。CO₂排出、取引状況を反映させたすごろくゲームです。

NPO 法人環境文明21作成。止まったマスによって手持ちのCO₂カードが増えたり減ったりするすごろくゲーム。すごろくを楽しみながら

学習会実施までの流れ

「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といったご要望があれば、各地域の推進員に学習会の開催を依頼することが出来ます。皆さんも学習会を開催してみませんか？

1. 学習会の開催申込み

お電話にて申込みを受け付けております。実施予定日の1ヶ月前までにお電話ください。連絡先：0985-74-7075

2. センターから各推進員へ連絡・調整

センター担当者から各推進員へ連絡を取り、日程や内容について調整を行います。

3. 学習会受付確定・実施

学習会申込者へセンターから実施確定の連絡があり、当日推進員が伺って学習会を実施します。

エコ用語辞典

4 IPCC (気候変動に関する政府間パネル)

1988年(昭和63年)に、国連環境計画(UNEP)と世界気象機関(WMO)により設立された、地球温暖化に関する科学的・技術的・社会経済的な評価を行う場。得た知見を政策決定者を始め広く一般に利用してもらうことを任務とし、5～6年ごとに地球温暖化について網羅的に評価した評価報告書を発表する。平成26年3月には横浜で第38回総会が開催される。

5 コージェネレーション

発電に際し発生する熱も一緒に有効活用する発電方法。熱効率が良くなるため、CO₂削減に寄与する。

6 グリーン購入

企業や国・地方公共団体が商品や工事発注などに際し、環境負荷の少ない商品や方法を積極的に選択するやり方。グリーン購入を率先して実施する企業や自治体などで構成する「グリーン購入ネットワーク」で基準などを取り決めている。

7 地球温暖化係数

温室効果ガス毎に定められる、温室効果の程度を示す値。温室効果を見積もる期間の長さによって変わる。100年間で比較して、メタンは二酸化炭素の約20倍、亜酸化窒素は約310倍、フロン類は数百～数千倍となる。

宮崎県地球温暖化防止活動推進センター通信「涼感みやざき」

発行：宮崎県地球温暖化防止活動推進センター (運営：特定非営利活動法人 宮崎文化本舗)

編集：山内 葵・桑畑 夏生

〒880-0811 宮崎県宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンズフィア壱番館 (KITEN) 3F

TEL：0985-74-7075 FAX：0985-74-7076

URL：http://www.mc3a.org/

E-mail：mcccaoffice@mc3a.org